

進学経験共有

任軒正博

ここで、皆様に私の留学経験を共有することを光栄に思い、皆様にお役に立てばと思います。

まず私の留学経歴を紹介したいと思います。私はハルビン工程大学を卒業後、中国科学院大学に入学し、2021年6月にコンピュータソフトウェアと理論の修士号を取得しました。私は学部時代から日本への留学を考えており、中国科学院大学卒業後日本で学び続けたいと思いました。しかしコロナ流行のため、私は2022年4月やっと亜細亜友之会外語学院に来ることができました。来日前に日本語N1に合格し、英語TOEFL、TOEICのスコアも取得していたので、来日後はひたすら大学院申請に注力しました。大変だったのは、専攻が変わったわけではありませんが、研究の方向性が変わり、研究課題や研究計画の策定がほぼゼロからのスタートしなければいけないことです。しかし、努力の甲斐あって、亜細亜友之会外語学院の先生方の丁寧なご指導のもと、2022年12月に北陸先端科学技術大学院大学、2023年2月に名古屋大学の情報科学博士課程にそれぞれ合格しました。

試験の経験を共有する前に、国内外を問わず、博士号取得には非常に難しく、卒業は非常に難しいことをここで改めて強調したいと思います。また、博士号は専門性が強いいため、就職の範囲は比較的狭いです。私は中国科学院大学にいた頃、ある企業の採用説明会では博士は採用しないと宣言された後、半数の求職者が怒って会場を去るという壮絶な「学問差別」の場面を目の当たりにした。したがって、博士号取得を考えている人は、「可能であれば博士号を取得したい」という安易な考えで将来の進路を決めるのではなく、本当に博士号取得によって自分が望むものを得ることができるのかをよく検討することをお勧めします。

大学院への進学準備となると、まず言葉の壁を越えなければなりません。言語を学ぶとき、環境は非常に重要です。せっかく日本に来たのですから、この言語環境を最大限に活用して、NHKのニュースだけでなく、自分の興味に合わせて、ラジオやテレビ番組をもっと聞いて、ゲームやアニメ、ラジオドラマ、インタビューなどを聞いてください。また、Youtubeの自分の好きな投稿者をフォローすることもできます。読書なら古本屋に行って好きな本を買って読むのもいいでしょう。これはリスニングとリーディングのスキルを向上させるのに非常に役立ち、同じ方法を英語の練習にも適用できます。

学校選択や教授への連絡については、修士課程の出願では、学校の評判やランキングを重視する傾向があるかもしれませんが、博士課程の出願について、有名な学校も良いですが、研究室や教授が自分に合うのかを考えたほうがよいと思います。研究室の研究の方向性や、その研究室が活発に学術活動を行っているかどうかや、教授が提供できる学術リソースが充実しているかどうかは卒業の可否を左右する重要な要素となります。したがって、自分の状況に応じて志望する学校や研究室を選ぶ必要がありますので、時間をかけて行うことをお勧めします。

また、教授との連絡も修士課程とは異なり、修士課程では試験の準備と良い成績さえ取れば教授との連絡を必要としない学校もあります。博士課程の場合は、まず教授に連絡することを強くお勧めします。教授によってはホームページに「博士号取得を希望する場合は事前に連絡する必要があります」との旨を記載している場合もありますので、ここで。運が良ければ、教授が研究計画について指導や提案をしてくれることもあります。したがって、この段階では大量のメールのやり取りが発生することは避けられませんが、多くのメールの修正を手伝っていただいた大澤先生に感謝します。最後に1つ、先生がEduメール、つまり教育用メールをお持ちの場合は、

その教育用メールに連絡してください。Gmail や QQ メールなどのパブリックメールと比べて、より正式的であり、スパムメールとみなされゴミ箱に入れられたこともありません。

入学試験に関しては、博士後期課程の入学試験は面接が主で、もちろん東京大学のように筆記試験があるところもあります。面接のプロセスは比較的固定されており、基本的には自分の発表＋先生からの質問をするというものです。自分の発表内容は主に修士段階の研究概要と博士後期課程の研究計画の2部から構成されます。2つの部分の割合は掲載時間に応じて自分で決めることができます、例えば私が志望した2校は20分と比較的長めですが、おおよそ2対1の割合で発表しました。研究概要は13分を超えず、研究計画部分は7分以内に限定しました。面接官の質問時間は学校によって異なりますが、北陸先端の質問時間は30分、試験時間は合計で1時間近くあり、面接官からは鋭い質問が出てくるので非常に難しかったです。名古屋大学の質問時間はわずか10分で、志望動機など一般的な質問も含まれており、比較的緩やかです。

研究概要の内容は修士論文の要約であり、発表期間に応じて適宜追加・削除が行われます。研究計画書の注目点は3点に絞られており、1つは研究の背景と目的、つまり良い問いを立てることです。2つ目は、先行研究です。これには、研究対象に対する自分の理解と、先人がそれをどの程度研究したかを反映する必要があります。3つ目は「学術イノベーション」で、俗に「アイデア」と呼ばれます。博士課程の研究計画では学術イノベーションにより重点を置いています。もちろん、これまでの先人の研究の欠点を補うためのものでも構いません。または、より新しく優れた方法を提案することもできます。上記の点をしっかりとこなすためには、大量の文献を読む必要がありますが、私は主に Google Scholar や自分の出身校の教育リソースを利用して文献を検索して読んでいました。最後に、引用と参考文献は無視できませんので、効率を高めるために Zotero や Endnote などの文献管理ソフトウェアを使用することをお勧めします。

以上が私の進学体験談ですが、皆さんが希望の学校に入学できることを願っています。

また、博士課程入学にあたり、入学金として特別に5万円を重細重友之会外語学院からいただいております。学校の配慮と信頼に大変感謝しています。これからも頑張っていきたいと思います。